



人工知能AI時代に生きる

校長 羽田野庸史

朝や夜の寒さは身にしみるものの、時折の気温上昇に春の訪れを感じる頃となりました。平成30年度も最後の月を迎えました。

この3月に卒業を迎える6年生は、平成25年4月の入学式を65名で迎えました。東町小では、久しぶりの1年生2クラスのスタートでした。当時、港区内の別の小学校で副校長をしていた私は、小さい、小さいと思っていた東町小の新入生が、自分が勤務していた小学校の新入生の数より多いことに驚いたことを今でも、覚えています。そして、5年生になるとときには、1学年3クラスにまでなりました。その6年生も84名の仲間とともに、平成最後の卒業生として東町小を巣立つ日が近づいてきました。

そんな6年生との接点の中で、考えさせられた一幕がありました。それは、毎朝、日直が各クラスの出欠席者数を報告するために校長室にやって来た時のことです。子供たちが来た時、私は、子供たちにその日のめあてを聞いたり、大きな行事の後は行事の感想を聞いたり、時には、国語や算数の問題を出して答えてもらったりします。そんな中、6年生のある男の子が「習字が得意なので、良い作品を書きたいです。」とめあてを言ったことがありました。その時、一緒に来ていた女の子が「本当に上手なんだよ。」とその子の習字の腕を褒めたので、私は、「将来、書道家も考えられるね。」と話しました。すると、その子は、「将来、その仕事はなくなっていると思うので、他の仕事を考えようと思います。」と答えました。将来的に書道家という仕事が残っているか否かは別にして、6年生がそこまで考えていることに驚きました。人工知能AIの飛躍的な進化によって、これまで人間にしかできないと思われていた仕事さえもロボットなどの機械に代わられようとしている現在、あらためて日々の教育活動で子供たちに人工知能AIにとって代わられないだけの資質・能力を身に付けてあげなければと思った場面でした。

そんな6年生に3月4日(月)には、1年生から5年生が感謝の気持ちを込めて、6年生を送る会を開きます。その時に今年度のオリジナル・ソング「Message」が6年生から初お披露目されます。そして、22日(金)の卒業式には、5年生が在校生代表として出席し、卒業生の雄姿を目に焼き付けることになります。

最後になりましたが、一年間、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

3月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後遊び
1	金	安全指導 避難訓練(煙ハウス)	3~6
2	土	ファミリー遊び 日本文化の時間	なし
3	日		なし
4	月	6年生を送る会 保護者会5校時(低)・6校時(高)	なし
5	火	お別れ給食	3~6
6	水	ありがとうの会(6年)	なし
7	木	児童集会 地域清掃(2、5年)	4~6
8	金		3~6
9	土		
10	日		
11	月	クラブ活動	なし
12	火		3~6
13	水		なし
14	木	音楽朝会	4~6
15	金		3~6
16	土		
17	日		
18	月		4~6
19	火		3~6
20	水	卒業式予行練習(5、6年) 給食終了 大掃除	なし
21	木	春分の日	
22	金	卒業式	なし
23	土		
24	日		
25	月	修了式	なし
26	火	春季休業日開始	
27	水		
28	木	※この他に予告なしの避難訓練が一回あります。	
29	金		
30	土		
31	日		

3月の生活目標

生活指導主任 河合 一洋

一年間のまとめをしよう。

早いもので、いよいよ一年のまとめの月になりました。一年間を振り返ると、様々なことが思い出されるのではないのでしょうか。

毎日使ってきた机やいすに、よごれはたまっていませんか。すみずみまできれいにし、また新たな気持ちで新年度を迎えられるよう、ご準備をお願いします。

卒業に向けて

6年1組 栗原 建二

6年2組 仁平 雄登

6年3組 小林 恵里花

学年目標である「協働」の意味は〈同じ目的のために、力をあわせて働くこと〉です。個性豊かな子供たちが自分の考えを大切にしながら、学年の仲間のため、下学年のため、学校のために主体的に活動できる子になってほしいという願いを込めて、この目標を設定しました。

4月に「学校のリーダー」とはどうあるべきなのかその具体的な姿を皆で考えました。「みんなをまとめられる人」「困っている子がいたら優しく声をかけられる人」「落ち着いて話し合いができる人」など、それぞれが思い描くリーダー像に近付けるように意識しながら活動を始めました。数々の行事、委員会やクラブ、ファミリー活動などにおいて、どうすればより良い活動になるかを真剣に考え、話し合いを重ね、行動に移してきました。その中で、成功や失敗を繰り返しながら、着実に力を付けてきた子供たち。「協働」のもつ意味を実感してきたようです。

卒業式まで残り僅かとなりました。子供は一日でも大きく成長します。残りの日々を大切に、価値のあるものにさせていきたいと思います。

1年生から2年生へ

1年1組 村上 尚子

1年2組 妻鹿 結美

先日、保育園児との交流がありました。新1年生のために自分たちができることを計画し、温かく迎えることができました。本の読み聞かせを計画した子は、「易しい本を選ぼう。ゆっくり読んであげよう。」と園児のことを考えて絵本を選び、何度も読み聞かせの練習を重ねました。当日は絵が見やすいように二人で協力して絵本を開き、園児の顔を見ながら丁寧に読んでいました。すごろくあそびを計画した子は、「すごろくの難しい言葉は、分かりやすい言葉にして教えてあげようよ。負けてばかりだとつまらないだろうな。園の友達にはおまけしてあげよう。」と話していて、園児と楽しく仲良く遊びました。給食では、食器や箸の置き方や持ち方を園児に見せ、食事マナーも立派な先輩です。交流後には、1年前の自分を思い出し、「給食を残さず全部食べられるようになったよ。」「英語のセリフを何度も友達と練習して、本番ではすらすらと話すことができたよ。」などと、自分の成長を味わいました。

国際学級のある東町小は、お互いを認め、思いやりのある優しい子供の姿を目指しています。豊かな心を持ち、助け合いながら課題を乗り越える2年生に成長してほしいと思います。

本校の特別活動

野島 美砂

「特別活動」では、学級活動（係や当番の活動、学級会、学級集会、適応指導、キャリア教育等）、児童会活動（委員会活動、児童集会活動、異年齢集団による交流等）、クラブ活動、学校行事を通して自主的、実践的な態度を育て、自己を生かす能力を養うことを目指しています。

クラブ活動では、学級・学年とは別に、同じ興味・関心をもった4年生以上の児童が集まって活動します。

委員会活動では、主によりよい学校生活に必要な活動を5、6年生が分担して行っています。月に1回程度、集会委員会の企画で行われる児童集会は、全校児童が楽しみにしています。

異年齢集団による交流の代表的な活動はファミリー活動です。全校児童数が100名を切っていた頃とは違って大人数での活動となり、6年生のリーダーシップがより一層求められるようになっていきます。今年度の6年生は、事前にしっかりと計画を立てたファミリー遊びで下級生達を楽しませていました。

急激な児童数の増加で、活動場所や活動の仕方などに工夫が必要となってきていますが、児童が集団活動に自主的、実践的に取り組み、自己有用感を味わえるようにしていきたいと思います。

ESC (English Support Course)

ESC 講師 古川美代子

平成24年度(2012年度)に国際学級が始まり、3月末で丸7年になります。ESCでは、英語を使う外国籍児童が算数と国語の時間に、別教室で英語を用いて学習します。国語の時間には日本語と英語を、算数の時間には英訳された教科書を使い日本の学習指導要領に従って学習しています。算数の学習は万国共通の内容が多いので、英語で指導すればあまり難しくありません。日本語の学習は初めてという児童が多いので、ひらがなの読み書きから始めます。ひらがなを読んだり書いたりすることは間もなくできるようになりますが、語彙を増やしていく必要があります。同時に先生や友達への挨拶や必要な日常会話も学習します。日本語は相手によって言葉が違ったり漢字は組み合わせによって読み方が違うので、とても難しいですが、興味を持って意欲的に学習しています。中には病院や買い物で両親の通訳をする児童もできます。国際学級は、共に学び共に高め合う機会の充実を目的にしていますので、日本人児童と外国籍児童の双方の児童の交流を進めるためにも早く日本語を使えるように指導しています。日本人児童から話しかけられるととても喜びますし、上達が早くなるので、日本人児童の協力が大切です。英語ができないから話しかけないということを時々耳にしますが、臆せず積極的に話しかけてほしいと思っています。ESCの児童は、言葉はできなくても東町小学校は楽しいと言っています。東町小で楽しい学校生活を経験し、よい思い出をもって帰国すれば、日本との架け橋になり、世界の平和につながると確信しています。